



「清流の国ぎふ」文化祭2024

ともに・つなぐ・みらいへ～清流文化の創造～



GIFU

岐阜県政記者クラブ加盟社 各位



令和5年12月1日(金) 岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
清流の国ぎふ文化祭推進課	全国障害者芸術・文化祭事業推進係	間宮 裕二	内線 3172 直通 058-272-1976 FAX 058-278-2660

<「清流の国ぎふ」文化祭2024>

「文化芸術共創プログラム」日本画ワークショップを開催します

「清流の国ぎふ」文化祭2024で実施する「文化芸術共創プログラム」に向けて、テーマとなる「共に創る、楽しむ、学び、伝える」について考え、学び、体験し、創造するワークショップとフォーラムを開催しています。

今回は、日本画ワークショップとして神戸智行氏^{かんべともゆき}を講師に迎え、歴史と自然のまち、関ヶ原にある「せきがはら人間村」という広大な芸術空間を散策しながら感じたインスピレーションを色紙に自由に表現します。

なお、本ワークショップで制作した作品を貼り合わせた屏風絵は、「清流の国ぎふ」文化祭2024で使用予定です。

記

1 開催日時

令和5年12月9日(土) 11:00～16:00

2 開催場所

せきがはら人間村生活美術館・人間塾(不破郡関ヶ原町2067 株式会社関ヶ原製作所内)

3 講師

神戸 智行氏(日本画家)

4 参加予定者

事前申込者 20名 ※定員に達したため、募集は締め切りました。

5 参加費

無料

6 その他

プログラムの詳細は「清流の国ぎふ」文化祭2024公式ウェブサイトをご確認ください。

ウェブサイト



◆文化芸術共創プログラムの概要◆

「共に創る、楽しむ、学び、伝える」ことをテーマに立場や環境の違い、障がいの有無に関わらず、多様な人々が関わりあい共に生きる社会のありかたを考えるプログラム。

※「共創」とは、さまざまな立場の人たちと対話しながら、新しい価値観を「共」に「創り上げていくこと。

◆「文化芸術共創プログラム」ワークショップ今後の開催予定◆

(1) ともにかこむ、つむぐ、つながる クラフトワークショップ

日 時：令和5年12月16日（土） 10:00～15:00

場 所：紙布工房「空桜」（美濃市蕨生1990-1）

定 員：20名

講 師：中谷 さとみ氏（紙布作家）

(2) ともにつながる、みつめる、うごかす 身体表現ワークショップ

日 時：令和6年2月3日（土） 13:00～16:00

場 所：ヤマカまなびパーク学習室502（多治見市豊岡町1-55）

定 員：20名

講 師：熊谷 佳代氏（岐阜大学教育学部教授）

(3) ともにつくる、かなでる、ものがたる 音楽表現ワークショップ

日 時：令和6年2月18日（日） 13:00～16:00

場 所：高山市民文化会館4-7大会議室（高山市昭和町1-188-1）

定 員：20名

講 師：藤原 ひとみ氏（パーカッショニスト）

(4) ともにかたらい、つながり、いきる つながるフォーラム

日 時：令和6年3月2日（土） 10:00～15:00

場 所：長良川うかいミュージアム四阿（岐阜市長良51-2）

定 員：50名

パネリスト：北川 雄史氏（社会福祉法人いぶき福祉会専務理事）

保井 円氏（宿屋揖斐川オーナー・大和神社宮司）

川上 宏二氏（岐阜市社会福祉事業団理事・障がいサービス事業統括施設長・相談支援専門員）

藤原 ひとみ氏（みんなの笑顔を守る会瑞穂支部 Mizu-tama 代表）

加納 大裕氏（清流みずほ認定こども園園長・総純寺学園理事長）

市川 尚樹氏（市川製茶代表・岐阜自慢ジカブプロジェクト会長）

◆「清流の国ぎふ」文化祭2024の概要◆

- 1 正式名称 「第39回国民文化祭」「第24回全国障害者芸術・文化祭」
- 2 統一名称 「清流の国ぎふ」文化祭2024（両大会をあわせた名称）
- 3 キャッチフレーズ とともに・つなぐ・みらいへ ～ 清流文化の創造 ～
- 4 基本方針 ①「清流の国ぎふ」の文化力を結集・発信
②次世代を見据えた文化芸術の創造
③文化芸術で人が輝く共生社会の実現
④国民文化の大交流の実現
- 5 主催者 岐阜県、文化庁、厚生労働省 ほか
- 6 会 期 令和6年10月14日（月・祝）～11月24日（日） 42日間

